

緑の相談コーナーだより

NO. 311 2011. 5. 1 発行

岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

身近な樹木 “スモモ” (李)

～ 白い小花が北国に春の訪れを告げる樹～



スモモ
Prunus salicina Lindl.
(*P. trifolia* Roxb.)

バラ科サクラ属のスモモは、ハダンキョウなどの名でも親しまれ、日本では広く果樹として栽培され、各地にふつうに見られる樹木で、野生状態になっているものもあります。スモモは、もともとアラビアの原産で、4000年以上の昔から栽培されていたようです。これがその後東西に分かれ、1つは中国へ、他はイランに入ったと言われます。したがって、西洋種のプラムの仲間はコーカサスの南からイラン北部に自生しており、アメリカに入ったのは17世紀以降だと考えられます。日本にはかなり古く、中国原産のものが渡来していたものと思われ、古事記、日本書紀、万葉集などにも李すももの名が見えます。

スモモの歌で有名なものに、万葉集巻19の「わが園のすももの花が庭にちるはだれのいまだのこりたるかも」があります。果実は球形で赤紫色または黄色に熟し、酸味に富んでいますが完全に熟すと甘く、そのまま生で食べられます。品種も多く、中国名でスモモは李りーと呼ばれ、揚子江流域などに広く野生種が自生しています。中国に李という姓が多いのも中国各地に多く生育しているからと思われれます。また、老子が生まれた時、李の樹を指さして「これを以て我が姓とせん」といったと伝えられており、李を神聖視し、仙李と称すなどの風習も残されています。詩経という書の中に「南山に杞あり、北山に李あり」という一文もあり、中国では早くから李の花を賞していたようです。疑われるような行いをするべきでないという意味の「李下に冠をたださず」という格言がありますが、この時の李下もスモモの木のことです。

スモモの名の由来ですが、東雅という書に「スモモ、スは酸なり、モモとは桃なり、その実酸くして多きをいうなり」と記されるように、酸桃の意味で、果実は酸味が強

いことによると言われます。

用途は庭園樹にしたり、果樹として栽培し、果実を食用や果実酒として用います。現在の主な栽培品種は、在来種がアメリカに渡り、それが改良されて逆輸入されたものです。生育条件は、砂質地を除けば土質を選びません。また、ほとんどの品種が自家受粉しませんので、混植するか人工授粉が必要です。

病虫害対策として、果実が奇形状にふくらみ、中が空洞になる「ふくろみ病」の発生がありますので注意が必要です。発病すると、実が青白色になって肥大し、やがて表面に灰白色の粉が見られるようになり、暗褐色から黒色に変わって落下します。発病のあった枝は取り除き、3月下旬頃に石灰硫黄合剤を散布して防除して下さい。

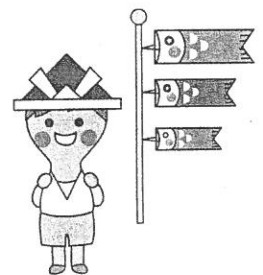
李花のもと胡弓をならすタベあり
葉がくれの赤い李になく小犬

長谷川素逝
一茶



公園だより

バラ園



平年よりも雪解けが遅れ気味となり、園芸好きの方はやきもきされたことと思います。また、4月は雪折れなどの事後対策に大変忙しかったのですが、鯉のぼりが泳ぐ季節を迎え、雪の下で育まれたバラの若芽は日増しに大きくなってきました。5月のバラ園は、今年から始まるリニューアルの作業に忙しい毎日ですが、生け垣のレンギョウが黄金色の花を咲かせ、岩見沢市の樹でもあるキタコブシがみごとに咲き誇っております。ハマナスの丘では、今月の下旬頃から香りの良い花をほころばせ始めることでしょう。この時期のバラ園周辺もぜひ覗いて見て下さい。

♥**今月のバラ園からの一口メモ**は、鉢植えバラの土替えについてです。鉢土は、新しいものに取り替えると育ちもよくなり、排水も悪くなりません。土替えをしないと、根がはびこりすぎて鉢土の肥料分を吸収し、有機質は分解され、土の団粒構造が壊され、通気や排水が悪くなり、保水力も悪くなります。時期的には休眠期にやるのがベターですが、本道では5月の上旬くらいまでに行いたいものです。10号以下の鉢は毎年全部の鉢土を、一人で動かさない特に大きな鉢は、上側3分の1ぐらいの土を毎年取り替えれば、2～3年はそのままでも育てられます。

室内公園色彩館では、2百鉢あまりの鉢植のバラが咲き競っています。また、岩見沢のオリジナルのバラであるスカーレット・イワミザワも館内を飾っております。間もなくシンボルツリーのタイサンボクも白い大きな花を見せてくれることでしょう。

南国温室では、レモンとブントアンがたわわに実っています。アンズリウムやカラーなどのほか、大輪のハイビスカスが咲きだしまして、一足早く夏が訪れました。

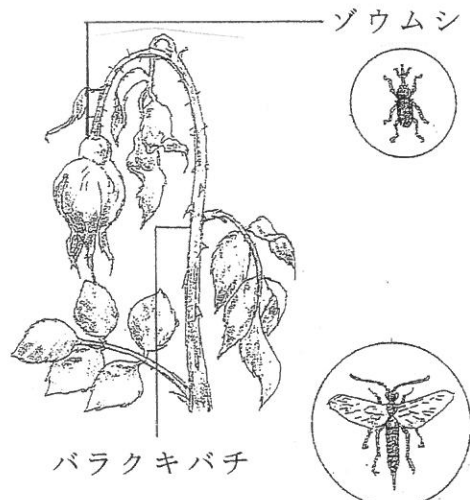
相 談 日 記

問 昨年、庭植えの花木類の蕾や花が、せっかく開花時期の前まで順調に生育していたのに、開花の時になって花や蕾がしおれてしまいました。バラの蕾は茶色になってしおれ、ツツジの花は腐ったように茶色になります。今年はきれいに咲いてくれるか心配です。病気にかかってしまったのでしょうか？治療法や対策などがあれば知りたいのですが。

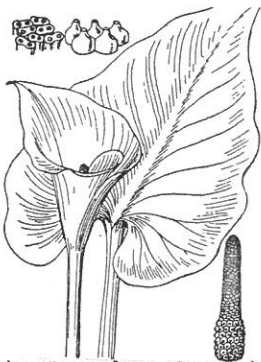
答 花がしおれてしまう一番の原因は、乾燥による水不足です。特に夏は、良く晴れる日が続いたりすると、樹木はその種類にもよりますが、非常に過酷な状態になります。この場合は花びらが一番先にしおれ、新葉などにも兆候が現れることが多いと思います。また、害虫による被害も考えられます。カイガラムシやアブラムシなどの一般的な害虫のほか、ツツジやバラではゾウムシやバラクキバチなどが疑われます。ゾウムシは、蕾や茎に口を差し込んで汁を吸うため、花が奇形になったりもします。バラクキバチでは、バラの茎に産卵するとき、刃物で切ったような傷をつけるため、茎が垂れ下がった状態でしおれてしまいます。

ツツジやサツキの花が枯れたのなら、花ぐされ菌核病が発生しているかもしれません。ツツジ類などでこの病気が発生すると花が茶色く腐敗し、花が落ちずに残るので美観を損ねてしまいます。このほか、肥料や水をやりすぎたり、コガネムシの幼虫に根を食べられたりして、根に障害を受けている場合も花がしおれることがあります。

治療と予防のポイント 水不足の場合は、水をやるだけでなく余分な葉を切り取ることで水分不足を防げます。病虫害の被害にあった花は、基本的に切り取って焼却などの処分をし、その後殺虫剤や殺菌剤を散布します。バラクキバチの被害によってしおれた花は、茎をなるべく短く切り落とします。また、ゾウムシやバラクキバチの予防のため春から数回薬剤散布をして抑えるのも有効的です。花ぐされ菌核病は、多湿なときにツツジ、サツキ、ツバキ、シャクナゲなどの樹木の花に発生します。花に水がついていると発生しやすくなります。水やりのときは、花に水を当てないように留意しましょう。



夏期冷涼な気候を好む球根植物～カラー 花言葉 夢のような恋



サトイモ科ザンテデスキア属の多年生球根で、南アフリカ原産の強壮な植物です。わが国には弘化年間（1844～48）に渡来しましたが、今では切り花用として各地で栽培されています。日本名オランダカイウ（和蘭海芋）は、和蘭船で移入されたのでこういわれ、カイウ（海芋）は海を渡ってきたサトイモの意味です。因みにカラーは「えり（collar）」からの転訛です。白のイメージが強い花ですが、黄色、橙色、ピンクなど、色も豊富です。切り花の場合、切り口をこまめに切り戻せば長く楽しめます。エチオピカ種は湿性地のカラーで、粘質壤土の多水分条件を好みますが、他の塊茎性の種類は、排水の良い畑でよく育ちます。北海道では非耐寒性の春植え球根として扱われ、湿性種は最低気温が10℃以下になる頃室内にとりこみます。畑地種は10月下旬に掘り上げ、凍らない程度の冷暗所で乾燥貯蔵します。ところで、花に見えるのは仏炎苞で、葉の変化したものです。本来の花はその中央にあります。

5～6月の園芸講座・行事案内

市民園芸講座の内容紹介

♣ バラ作りの魅力と楽しさ

日時 5月 8日（日） 13:00～15:00

講師 園芸研究家 平井 正良 さん 定員 40人 参加料 無料



♣ 楽しい家庭菜園作りⅡ

日時 5月 15日（日） 13:00～15:00

講師 園芸研究家 横山 弘 さん 定員 40人 参加料 無料

♣ 鉢花管理のポイント

日時 5月 21日（土） 13:00～15:00

講師 園芸研究家 久保 勉 さん 定員 40人 参加料 無料

♣ コンテナガーデンの基本

日時 6月 5日（日） 13:00～15:00

講師 恵庭サンガーデン 土谷 美紀 さん 定員 40人 参加料 無料

編集・発行 北海道グリーンランド（空知リゾートシティ株式会社）

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111 まで